

ひまわり苑 便り

第101号
秋田

平成24年1月23日発行（年4回発行） 発行人 管理者 笹川 累利子

〒010-0401 秋田県男鹿市野石字大場沢下1-11 Tel 0185 (47) 2311・Fax 0185 (47) 2220

Eメールアドレス：wakafuku@beach.ocn.ne.jp URL：http://www15.ocn.ne.jp/~wakafuku/

迎春



ひまわり苑から 元気をお届け！

常の心にイノベーション

社会福祉法人若美福祉会理事長 渡部 静雄

平成24年の新年です。皆様おめでとうございます。

これまで皆様から賜りました、各般における御懇情は心に染みて有難く存じます。この年が皆様に幸せの恵みを運んで下さることをお祈り申し上げます。

施設利用者80人のひまわり苑は職員を含めて130人ほどの小さな社会です。しかし、担っている任務は、重過ぎるほどです。この重さに応えられるように、一層踏ん張っていききたい。あらためて思う覚悟です。覚悟の命題は、イノベーションです。足踏みのうえに、安坐していいか。大事なことに、気付かずにいるのではないか。私の不安、慮れです。これまで誠実に励んできて、僅かばかりの自信と、誇りさえも感じられるようになりました。そのことで、いまの目が曇らされているのではないか。さらには、きつと来る未来に備えることもあるだろうから。いまは、よく見えてもいない。掴めてもいない。けれども深い奥の世界があることでしょう。

視点をここに据えれば、まず第一に「問題発見能力」の向上です。第二には「課題設定能力」の鍛練です。私が著書からいただいた教訓に、「ミネルヴァのふくろうは、夜に飛び立つ」という一句があります。時代は2世紀前、西欧の哲学者が言ったことです。ローマ神話の知恵の神、ミネルヴァ神を、譬えに引いています。時の状況に、対応策が出遅れている、後手に回っている、それを厳しく、批判したものです。著者は高名な評論家。いまのわが国では、「ミネルヴァのふくろうは、白昼（適時）に飛び立つ」ことが必要だと、強調しています。

翻つて、それでは私達は、どのような姿勢で対処すべきか。「苑を飛び立つ、ミネルヴァのふくろうは、未明の空に羽撃く」。この決心ではないか。心に咎打ち、潔く一歩踏み出そう。この諸賢の御指導と御支援を、切にこいねがう次第です。

運命の出合い

ひまわり苑保護者会会長 安藤 政弘

人の生涯はどんな人と出合うかによって左右される。

私達は「ひまわり苑」との運命的な出合いに恵まれ、深い絆で結ばれています。この幸せな出合いに感謝します。

障害者福祉はいま歴史的な重大局面を迎えています。知的障害者分野は他の障害分野と異なる複雑で深刻な特殊性があり、悩みが尽きません。

昨年の「東日本大震災」は我が国の歴史で世紀的大惨事となり、今なおその傷跡を引きずっています。生まれた土地から引き裂かれ、安直な仮設住宅での忍従生活。特に福島県は原発事故が幾重にも加わり、更に無慈悲な風評被害が重なり、政策無策の中で途端の苦しみに喘いでいます。国家中枢のリーダー不在の無為無策の中で、現地の方たちは本当に良く耐え忍んでおりその姿に心が痛みます。

事故直後、東京の駅頭で小学生の女兒が通行人の目を見据え義捐金活動をしていた。その子供達は日本の将来を直観で察した行動であり、その迫力に押されて足がすくみました。此の子供達に比べ、日本のリーダーの迫力のなさに落胆します。

腸内細菌は、善玉・悪玉・日和見菌など百兆の菌が見事なバランスに支えられ人は生存しています。またヘモグロビンは肺の中では酸素に着き、毛細血管では炭酸ガスに着き、この見事なバランスによって、体内の老廃物を代謝する重要な役割を担っています。

集団の中の個、個の中の集団。この絶妙のバランスのなかでの役割を果たすこと、此のところが個性の尊重であり、個が生されることです。

「ひまわり苑」の中に、いま日本が見失っているキラリと光る日本の歴史と文化があります。みなさん、誇りを持ってこの運命的な出合いを大切に育てましょう！

楽しかったひまわり苑祭

平成23年10月30日にひまわり苑祭が開催されました。
苑祭アトラクションには近隣の保育園児や中学生に花を添えていただきました。
また、太鼓チーム「海鳴り」や「劇団ひまわり」等、利用者と職員が一丸となって苑祭を盛り上げてくれました!!!

アトラクション



「太鼓チーム海鳴り」の演奏では、初めて舞台での演奏で少し緊張しましたが、毎日の練習の成果で大成功!?!で終える事が出来ました。



今年も瀧西中学校プラスバンド部や若美南保育園の園児が参加してくれました。ひまわり苑の職員も演奏に参加する等、素晴らしい演奏になりました。園児の踊りも元気よく踊ってもらい、見ている方も笑顔になりました。

販売

ボランティアでは瀧西中学校バレー部が販売やゲームコーナーの手伝いをしてくれました。本当にありがとうございました。



今年もたくさんの収穫物を販売する事が出来ました。



慣れた手つきの【焼きそば屋さん】

苑祭準備



上手く出来るかな!?

今年の苑内ホールに飾る壁画ではちぎり絵を制作する事にしました。職員、利用者が協力し全員で完成させる事が出来ました。



皆で協力して完成させました!

あゆみグループ 12/1 ~12/2 (一泊旅行)

あゆみグループは横手市内を見学し横手ふるさと村や、かまくら館の見学などに行ってきました。みなさん久々の一泊旅行ということで、旅館での温泉や宴会を楽しみました。



横手かまくら館での初のかまくら体験



大好きなぬいぐるみ発見。一緒に記念撮影。



横手城



いただきます!

今年の利用者の旅行が実施されました。各グループに分かれ日帰り・一泊と楽しんで来ました。思い出の写真をご覧下さい。

ほのぼのグループ 12/13(日帰り旅行)



とっても良い笑顔!



大きなクリスマスツリーの前で。



こまち温泉にて観劇の役者さんと一緒に!!



ほのぼのグループは秋田市内にある「こまち温泉」にて懐石料理と芝居観劇を楽しみました。劇では笑いあり涙あり：最後まで目が離せない感動の劇に皆さん大満足!! 「おもしろかった! また行きたい!」との声が聞かれました。

実野リグループ 12/6~12/7 (一泊旅行)



平泉・中尊寺



わんこそば体験



みんな頑張りました!!
職員もビックリです。

わんこそば
ランキング

- 1位 石出 哲也 90杯
- 2位 長沢 隆弘 75杯
- 3位 阿部慎太郎 71杯



岩手ヤクルト工場 大好きな野球のユニフォームを着て嬉しそう。

実野リグループは岩手県の平泉中尊寺、花巻温泉、ヤクルト工場見学、わんこそば体験などをしてきました。久々の県外での一泊旅行であり、宴会や温泉のほか、初めてのわんこそば体験をするなどみなさん満喫してきました。

グループ旅行 2011

木の子グループ 11/29~11/30 (一泊旅行)



秋田ブルーメッセ温室にてお花で出来たクリスマスツリーとてもきれいでした。



乾杯~!

秋田県農業研修センター 生態系公園



生態系公園の温室にて。熱帯植物がたくさんでハワイ旅行みたいでした。

木の子グループは大潟村「秋田県農業研修センター生態系公園」、湯上市「あきたブルーメッセ」、男鹿市「男鹿水族館GAO」を見学しました。宿泊先のサンルールの大潟ではコース料理やカラオケ大会で大盛り上がりでした。



歌って、踊って♪



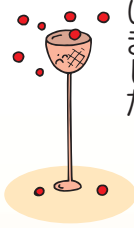
男鹿水族館GAO



本物の白熊みたいで少し怖いかな?!

オータムレクリエーション

皆さんが楽しみにしていたオータムレクリエーションが、9月29日ひまわり苑体育館で行われました。恒例の玉入れの他、職員が考案した珍ゲームにお腹を抱えて笑い転げる人もいました。



☆若美地区ふれあい祭り☆

11月12日に行われた、若美地区社会福祉協議会主催のお祭りに、オーピングゲストとして登場しました。この日は踊りの山田講師にも参加していただき、会場を盛り上げていただきました。



月元気に歌おうコンサート月

12月8日、プロ歌手の木村聡子さんがひまわり苑を訪れてくれました。この日は若美地区の保育・幼稚園児や一般の方も招待し、盛大なコンサートが開催されました。みんなが知っている童謡や、アニメソングを歌ってくれました。木村さんまた来て下さいね。



払戸小学校6年生との交流会

11月28日、ひまわり苑に元気な6年生がやってきました。一緒にバドミントンをしたり、365歩のマーチを踊りました。



来年も待ってまーす



※職員の異動※

【退職】

副管理者 高橋 豊

ひまわり苑の開苑当初からみんなと一緒に汗を流し、ひまわり苑のため、利用者のために勤められた高橋さんが11月30日をもって定年退職されました。高橋さんの「利用者のために」という精神をしっかりと受け継いでいきたいと思えます。長い間お疲れ様でした。



年末昼食会

12/21

今年には会食前に3月11日の大震災で犠牲になられた方々に黙祷をささげました。

大震災以降みんなで取り組んだ節電や募金活動を思い出しながら、おすし屋さんの中からし寿司をいただきました。マグロにサケ、ホタテに甘エビ、美味しいものが食べられる幸せをかみしめているようでした。

